

主権者勉強会にご参加の皆さん

いかがお過ごしですか。

7月28日の会は、台風のためとはいえ延期してしまい、たいへん失礼しました。

その後、酷暑のなかで考え続けてきました。

本当は4月から7月にかけて、誰にでも理解してもらえる主権者のための社会学を示して、参加してくださる人たちの意見を聞きたいと思っていたのですが、7月の世界社会学会議への準備のためこちらの方の準備が十分できず、中途半端に難しくなったりして皆さんに迷惑をかけてすまなかったと思っています。

そのお詫びの意味も込めて、9月22日、10月27日、11月17日、12月15日の4回であらためて私の考えていることをできるかぎり分かりやすく話し、参加してくれる人たちの意見を聞きたいと思います。

会場の確保が心配だったのですが、同じ場所、同じやり方で、なんとかしてもらえることになりました。

9月と10月はこれまでどおり第4土曜日ですが、11月は24日が連休の中日のため、12月は22日がクリスマス連休の前日に当たるため、第3土曜日にしたいと思っています。

時間はこれまでと同じ午後2時から5時までです。

よろしかったらご参加ください。

内容についてはベストを尽くすつもりです。

無理なお願いはできないので、ご参加についてはどうかご自由にご判断ください。

よろしくお願いします。

庄司興吉

次ページ以降に考えなした主権者の社会学の構成を示します。

□ 主権者への道

1 主権者の意味

幼少期の記憶

「戦争だ、戦争だ！」

高橋渉先生のこと

2 原子・人間・主権者

松田敏夫君の導き：原子物理学開眼

漱石からロマン・ロランへ

憲法前文・フランス国家・実存主義文学

3 行動から省察へ

大学入学＝国会前デモ

生き残った人間の責務

主権者になるための社会学

4 日本近代と社会科学

日本の社会科学は何をしてきたのか？

マルクス主義と近代主義：労働者と市民

社会主義の現実とは？

5 社会主義と民主主義

中国の「三つの世界」論

アメリカ民主主義の体感

社会主義民主化への期待

6 世界社会から地球社会へ

冷戦終結と歴史の始まり
地球社会化とポストコロニアル化
インターネットとようやく見えてきた社会学

□ 主権者のための社会理論

1 共同性と階層性の相克

社会の基本相と階層化の必然性
階級闘争史観の妥当性と不十分
マルクス社会理論の欠陥を超える

2 宗教・国家および市場

宗教がなんと大切なことか！
国家は単なる手段でも機関でもない
人間的自然としての市場

3 一次普遍社会としての帝国

都市を拠点とする社会のシステム化
王国から帝国へ
人類史は帝国の抗争史

4 都市から市民革命へ

都市民による専政の突破
妥協しなかった市民革命はない
市民革命はなぜ妥協したのか？

5 市民社会と植民地主義

西欧の世界制覇と植民地形成
自由・平等・友愛の限界
植民者の独立から植民地民衆の独立へ

6 市民社会と民主社会

画期としてのヴェトナムの勝利（1975 年）
社会主義の限界と地球環境問題
市民社会を超え出る民主社会

□ 主権者から見た現代社会

1 社会把握の理論と方法

社会理論を生かす
そのための方法を意識する
現代社会のマトリクス

2 「ニューノーマル」の意味

テロリズムの頻発
背景としての難民と移民
核戦争の危機は超えられたのか？

3 中国の経済成長と新たな階層化

堂々たる経済成長
そのための国内階層化と国際階層化
欧米日の開き直りはどこまで持つか？

4 電子情報革命と国際組織の前進

電子情報革命と地球社会の形成
国際組織は追いついていけるか？
世界社会からの道筋はできてきている

5 世界社会・地球社会のなかの日本

世界社会への端緒を理解できない日本

地球社会への道を拓きながら疎外されつつある日本
自由・平等・友愛を自然との調和のうえに載せる

6 地球社会の主権者

友愛の意味が明らかになってきた
身体を洗い直すことからやり直す
これからが本当の人類への道なのだ

□ 主権者に今できること

1 社会把握は実践につながる

身の縮む思い
それでも社会学は自ら実現しようとする
率直に生きること

2 正当な選挙を実現する

憲法の基礎にある共同性
問題は選挙制度と政党制度
主権者が自ら決める

3 協同的事業の範囲を広げる

社会主義の理念と現実を見つめる
自ら事業することの意義をきちんとふまえる
巨大資本の社会化と民主的統制

4 電子情報網によるコミュニティの形成

身体連関・インターネット・ゲノッセンシャフト
国連を初めとする国際組織の改革と政界政府化
民際組織をふまえて世界的再分配へ

5 国際交流を身体的交流のうえに載せる

相互留学から相互移民へ

友愛 **Fraternity** の意味を吟味し直す

相互通訳プログラムへの努力：言語帝国主義を不要にする

6 人類的民主協同社会の文化へ

社会生態系：人類社会が地球生態系のなかにあることの確認

ゲノッセンシャフトから地球生物社会へ

そのための人類的民主協同社会の文化